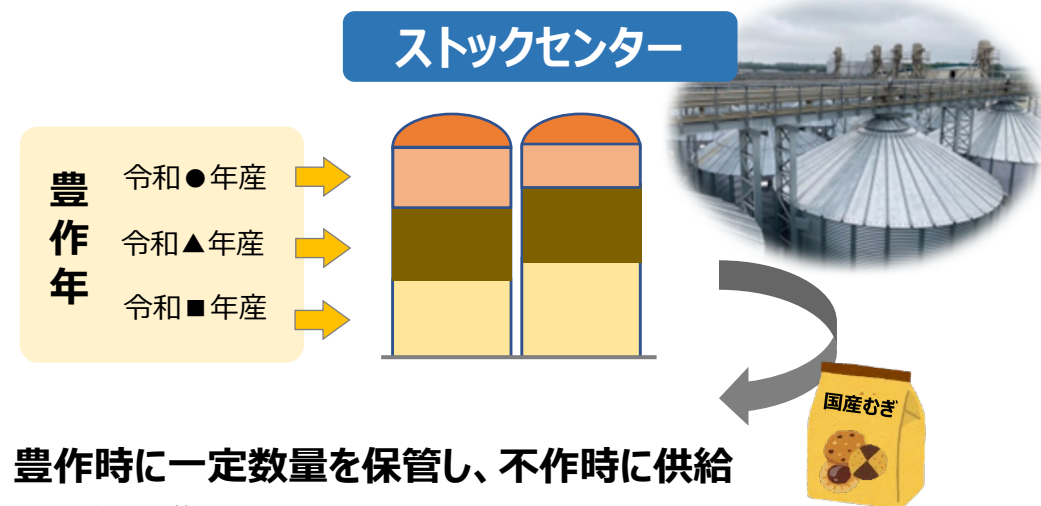
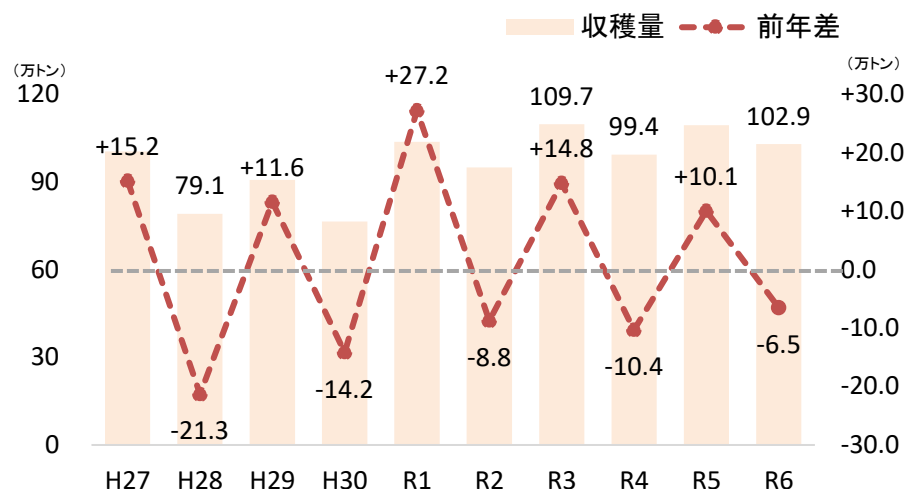


ストックセンターによる安定供給体制の確立

- 産地・年産ごとに生産量・品質の変動が大きく、安定供給体制の確立が急務。
- 実需者に対して国産麦を安定的に供給できる体制を構築することを目的として、**豊作時に一定数量を保管し、不作時に供給**するための**ストックセンター**の整備を支援。
- 小麦の主産地である北海道では、中小製粉企業と生産者団体が連携してストックセンターを整備し、余剰分の小麦を保管している。

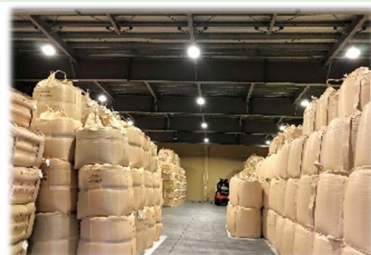


○北海道産麦コンソーシアム (R2補正)

【構造】定温倉庫：3,000㎡
保管能力：6,000t

【所在地】北海道石狩市

実需者の保管能力の拡大
↓
引取り遅延による産地での
小麦の滞留を解消



○佐賀県農業協同組合 (R3補正)

【構造】定温倉庫：3,657㎡
保管能力：6,042 t

【所在地】佐賀県佐賀市

産地の保管能力の拡大
↓
生産拡大を促進



麦・大豆ストックセンター整備対策等の成果

○ これまでに安定供給を目的とした保管庫を18件整備、延べ保管能力は約5.6万トン

麦・大豆保管施設整備事業（R2補正、R3補正） 採択件数 10件 総交付額 15.4億円

国産小麦安定供給強化対策（R4予備費） 採択件数 1件 総交付額 3.0億円

麦・大豆ストックセンター整備対策（R4補正、R5補正） 採択件数 6件 総要望額 16.8億円

新基本計画実装・農業構造転換支援事業（R6補正） 採択件数 1件（建設中） 総要望額 2.2億円

<整備事例>

○佐賀県農業協同組合（R4補正）

【構造】定温倉庫：3,657㎡

保管能力：6,042 t

【所在地】佐賀県佐賀市

○国産大豆備蓄コンソーシアム（R4補正）

【構成員】

・有限会社古田商店

・株式会社互明商事

・全国農業協同組合連合会

【構造】定温倉庫：688.5㎡

保管能力：1,000 t

【所在地】愛知県名古屋市

○北海道産麦コンソーシアム（R2補正）

【構成員】

・ドーブン

・江別製粉、横山製粉、木田製粉

・北海道製粉工業協同組合

・北海道農業協同組合中央会

・ホクレン農業協同組合連合会

・北海道農政部

【構造】定温倉庫：3,000㎡

保管能力：6,000t

【所在地】北海道石狩市

○大豆安定出荷コンソーシアム（R3補正）

【構成員】

・北海道グレインカンパニー

・オホーツク十勝豆づくり部会

・片岡商店

・高田商店

・あいち醸造社

【構造】定温倉庫：1,632㎡

保管能力：2,545 t

【所在地】北海道網走郡美幌町

○国産麦安定供給体制強化構築に向けたコンソーシアム（R2補正）

【構成員】

・山本忠信商店

・事業協同組合チホク会

【構造】コルゲート定温サイロ

（750t×8基）

保管能力：6,000t

【所在地】北海道音更町

